

施策コード	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
5 — 1	施策目標	1	上下水道の充実

	目標6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	
	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する	
	目標14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	
SDGs 連携分野		

6 安全な水とトイレ
を世界中に

11 ほみ暮らしが
めざされるまちづくりを

14 海の豊かさを
守ろう

目指すべきまちの姿	強靱で信頼できる水道により安全で安心なおいしい水が供給され、また、下水道の整備と普及により衛生的な生活環境が確保されています。
-----------	---

●主要施策と概要【PLAN】	この1年間の成果及び反省点【DO】	担当課	評価 【CHECK】
(1) 公共下水道事業の推進【重点施策】 ・市街化区域及び団地等の人口密集区域の公共下水道の整備を進めます。	市街化区域等の人口密集区域を重点的に整備し、生活環境の向上に取り組みました。下水道整備に係る事業費が大きいため、計画的、効率的に整備を進める必要があります。	下水道課	A
(2) 農業集落排水施設等の適正管理 ・農業集落排水施設等の適正な維持管理と接続の促進を図ります。	施設の適切な維持管理に取り組みました。今後は、施設の老朽化に備えて、機能強化工事を進める必要があります。	下水道課	A
(3) 下水道事業の健全運営 ・施設の効率的な維持管理の推進、経費の節減などにより、下水道事業の健全運営を目指します。	施設の効率的な維持管理に取り組みました。今後は、施設の老朽化に備え、長寿命化を検討する必要があります。	下水道課	A
(4) 水道施設の整備 ・水道施設の老朽化対策及び地震等災害対策として、耐震性の低い経年管や配水池等その他老朽化施設の耐震化又は更新を進めます。	施設の老朽化対策及び地震等災害対策として塩化ビニル管更新事業を推進し、年々増加する経年管の計画的な更新に努めました。	環境課	B
(5) 水道事業の健全運営 ・業務の効率化や定員管理の適正化等、経費削減及び適切な建設投資を進め、より質の高いサービスを実施します。	海部南部水道企業団新水道ビジョン及び経営戦略の策定をすることで、事業の将来増を可視化し、今後の課題や対策を整理しました。	環境課	B

●施策目標に対する市民満足度	単位	現状値 (2017年度)	目指す方向性	中間値 (2022年度)
下水道・排水処理施設の整備	%	25.2	↗	

●成果指標	単位	現状値	各年度の実績値				目標値 (目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度
(1) 汚水処理人口普及率（合併処理浄化槽等を除く。）	%	49.9	55.2	57.8			73.3	81.6
(1) 公共下水道整備率	%	31.6	36.0	39.6			53.6	62.0
(2) 農業集落排水接続率	%	80.0	82.6	82.0			↗	↗
(3) 収益的収支比率（%）（公共下水道）	%	105	117.6	122.5			102	101
(3) 公営企業会計移行事業全体進捗率	%	80.0	100	100			↗	↗
(4) 配水池の耐震化率	%	30.7	30.7	30.7			36.0	36.0
(4) 上水道老朽管（塩化ビニール管）の改修率	%	28.0	36.9	42.5			71.2	100.0

事業 No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】	
(1)	公共下水道施設建設事業	下水道課	経営戦略に基づき、10年概成に向けて今後も市街化区域の下水道整備を進めます。	現状維持
(2-1)	農業集落排水施設管理事業	下水道課	全処理区が整備済であるため、維持管理を中心に事業を進めます。また、汚水処理施設については機能強化工事を進めます。	現状維持
(2-2)	コミュニティ・プラント管理事業	下水道課	維持管理を中心に事業を進めます。持続可能な事業とするために、業務の効率化とコスト削減に取り組みます。（楽荘浄化センターは、コミュニティプラント（小規模下水処理施設）として楽荘団地のみを供用開始地域とし、排水接続率は100%を達成しています。）	改善

施策の今後の方針 【ACTION】	今後も、国費の重点配分がされる下水道未普及対策事業により、令和7年度までの10年概成アクションプラン整備計画に基づき、市街化区域や人口集中地域を重点整備区域として公共下水道の整備を推進し、また接続促進にも努め汚水処理人口普及率の向上を図る必要があります。 また、策定しました経営戦略に基づき、下水道経営の安定化を図ってまいります。
------------------------------------	--

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(1)	公共下水道施設建設事業	下水道課	下水道グループ	令和3年6月25日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち	重点施策
	施策目標	1	上下水道の充実	○
	主要施策	1	公共下水道事業の推進	
	主要事業		公共下水道施設建設事業	
SDGs 連携分野	目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する			
	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
	目標14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する			
	6 安全な水とトイレ を世界中に  11 住み続けられる まちづくりを  14 海の豊かさを 守ろう 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	公共下水道の整備を図り、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資することを目的とします。						主な協働・ 関連団体等	
事業概要	市街化区域及び団地等の人口密集区域について、公共下水道を整備します。整備予定箇所としては、佐古木、五明地内等を予定しています。						関連する 個別計画・ 根拠法令等	弥富市污水適正処理構想
								下水道法
								都市計画法
事業の開始・ 終了	開始年度	2006	年度	終了年度	2028	年度		

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
事業内訳	工事請負費	787,999	工事請負費	835,000	工事請負費	500,000	工事請負費	500,000
	(補助額)	312,180	(補助額)	307,000	(補助額)	185,000	(補助額)	185,000
	調査設計委託料	62,570	調査設計委託料	82,800	調査設計委託料	30,000	調査設計委託料	30,000
	(補助額)	10,000	(補助額)	15,000	(補助額)		(補助額)	
	補償金	75,217	補償金	81,374	補償金	50,000	補償金	50,000
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	建設負担金	20,813	建設負担金	20,819	建設負担金	22,000	建設負担金	22,000
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	需用費	9	需用費	24	需用費	24	需用費	24
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合 計	946,608	合 計	1,020,017	合 計	602,024	合 計	602,024
	(補助額)	322,180	(補助額)	322,000	(補助額)	185,000	(補助額)	185,000

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(1) 汚水処理人口普及率 (合併処理浄化槽等を除く。)	%	49.9	55.2	57.8			73.3	81.6	
(1) 公共下水道整備率	%	31.6	36.0	39.6			53.6	62.0	

指標の分析	公共下水道整備は、目標値に向かって概ね順調に推移しています。
-------	--------------------------------

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	生活環境の改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全のために必要な事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	設計段階で、経済性や事業効果等を検討し、工法や整備箇所を決定しています。
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか	下水道法において、公共下水道事業は市が行うものとされています。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	生活環境の改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全による市民生活の快適性を高めるために、公共下水道整備は貢献しています。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
経営戦略に基づき、10年概成に向けて今後も市街化区域の下水道整備を進めます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(2-1)	農業集落排水施設管理事業					下水道課	施設管理グループ	令和3年6月25日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち					重点施策	
	施策目標	1	上下水道の充実						
	主要施策	2	農業集落排水施設等の適正管理						
	主要事業		農業集落排水施設管理事業						
SDGs 連携分野	目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する								
	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する								
	目標14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する								
6 安全な水とトイレを世界中に 11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを守ろう									
■事業内容【PLAN】									
事業目的	生活環境基盤の整備及び農業用排水路その他公共用水域の水質保全を図り、環境衛生の改善を図ることを目的とします。					主な協働・関連団体等	愛知県土地改良事業団体連合会		
事業概要	農業集落排水施設は老朽化に備えて、長寿命化に向けて個別施設計画（最適化構想）を策定し、適正な維持管理を図るとともに、未接続箇所個別訪問等を行い接続を推進します。					関連する個別計画・根拠法令等	浄化槽法		
							弥富市污水处理施設条例		
事業の開始・終了	開始年度	2006	年度	終了年度	2028	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	工事請負費	109,803	工事請負費	105,000	工事請負費	41,000	工事請負費	18,000		
	(補助額)	65,671	(補助額)	60,260	(補助額)	19,600	(補助額)	5,000		
	委託料	85,969	委託料	91,611	委託料	101,000	委託料	101,000		
	(補助額)	8,000	(補助額)	8,000	(補助額)	8,000	(補助額)	8,000		
	需用費	22,348	需用費	25,429	需用費	25,429	需用費	25,429		
	(補助額)	0	(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	役務費	1,427	役務費	2,020	役務費	2,020	役務費	2,020		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	補償金等	11	補償金等	800	補償金等	800	補償金等	800		
	(補助額)	0	(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	合 計	219,558	合 計	224,860	合 計	170,249	合 計	147,249		
	(補助額)	73,671	(補助額)	68,260	(補助額)	27,600	(補助額)	13,000		
成果指標			単位	現状値 (2017年度)	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度
(2) 農業集落排水接続率			%	80.0	82.6	82.0			↗	↗
指標の分析			農業集落排水施設管理事業における排水接続率は、人口減少等により低下していますが、接続件数は増加しており、概ね順調に推移しています。							
■事業の評価【CHECK】										
項目		評価視点				評価の結果				
必要性		・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				農業用排水の水質の汚濁を防止し、農業地域の基本的な生活環境の向上を図るため必要な事業です。				
効率性		・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				緊急性や事業効果等を検討し、工法や整備箇所（統合等）を決定しています。また、リサイクル品の使用も実施しています。				
妥当性		・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか				浄化槽法において、農業集落排水施設管理事業は市が行うものとされています。				
施策への貢献度		・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				農業用排水の水質の汚濁を防止し、農業地域の健全な水循環に資するとともに、基本的な生活環境の向上を図るために、農業集落排水施設管理事業は貢献しています。				
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見								方向性		
全処理区が整備済であるため、維持管理を中心に事業を進めます。また、汚水処理施設については機能強化工事を進めます。								現状維持		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(2-2)	コミュニティ・プラント管理事業					下水道課	施設管理グループ	令和3年6月25日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち					重点施策	
	施策目標	1	上下水道の充実						
	主要施策	2	農業集落排水施設等の適正管理						
	主要事業		コミュニティ・プラント管理事業						
SDGs 連携分野	目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する								
	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する								
	目標14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する								
6安全な水とトイレを世界中に 11住み続けられるまちづくりを 14海の豊かさを守ろう									
■事業内容【PLAN】									
事業目的	生活環境基盤の整備及び農業用排水路その他公共用水域の水質保全を図り、環境衛生の改善を図ることを目的とします。					主な協働・関連団体等	愛知県土地改良事業団体連合会		
事業概要	薬荘浄化センターの保守点検、浄化槽点検、水質検査等を適時実施し、施設の老朽化に備えて適正な維持管理を図ります。					関連する個別計画・根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
							弥富市污水处理施設条例		
事業の開始・終了	開始年度	2006	年度	終了年度	2028	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】									
事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	
	委託料	5,920	委託料	6,956	委託料	6,956	委託料	6,956	
	(補助額)	0	(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	需用費	2,031	需用費	2,913	需用費	2,913	需用費	2,913	
	(補助額)	0	(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	コミュニティ・プラ ント工事請負費	2,387	コミュニティ・プラ ント工事請負費	2,500	コミュニティ・プラ ント工事請負費	2,500	コミュニティ・プラ ント工事請負費	2,500	
	(補助額)	0	(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	役務費	29	役務費	195	役務費	195	役務費	195	
	(補助額)	0	(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	合 計	10,367	合 計	12,564	合 計	12,564	合 計	12,564	
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	
成果指標			単位	現状値 (2017年度)	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 2028年度
指標の分析									
■事業の評価【CHECK】									
項目	評価視点				評価の結果				
必要性	・ 住民のために効果的なものであり、求められているか ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要であるか				楽荘団地の生活環境の改善、公衆衛生の向上、水質保全のために必要な事業です。				
効率性	・ 前年に比べてどのように工夫したのか ・ コストの削減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性				緊急性や事業効果等を検討し、工法や整備箇所を決定しています。				
妥当性	・ 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか				廃棄物の処理及び清掃に関する法律において、コミュニティ・プラント管理事業は市が行うものとされています。				
施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果				楽荘団地の生活環境の改善、公衆衛生の向上、水質保全による快適性を高めるために、コミュニティ・プラント管理事業は貢献しています。				
■今後の進め方【ACTION】									
課長意見							方向性		
維持管理を中心に事業を進めます。持続可能な事業とするために、業務の効率化とコスト削減に取り組みます。(楽荘浄化センターは、コミュニティプラント(小規模下水処理施設)として楽荘団地のみを供用開始地域とし、排水接続率は100%を達成しています。)							改善		